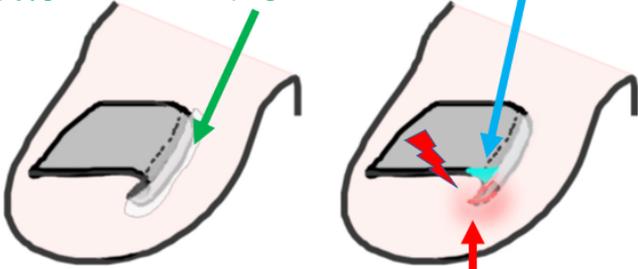
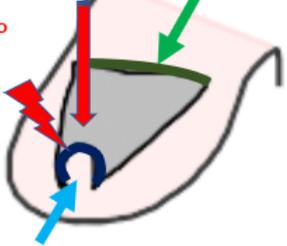


巻き爪の治療方法

陥入爪(かんにゅうそう)の治療と、巻き爪の矯正治療(巻き爪マイスター)

巻き爪には、2種類の病態があります

当院では、一般的に巻き爪と言われている疾患を、病態に即して以下のように2つに分けて考えています。多くは、医師が言う陥入爪のことで、急に痛くなって受診される方が多いです。巻き爪の場合は感染がなくても、布団などの軽いものが爪に当たっても痛むという症状です。

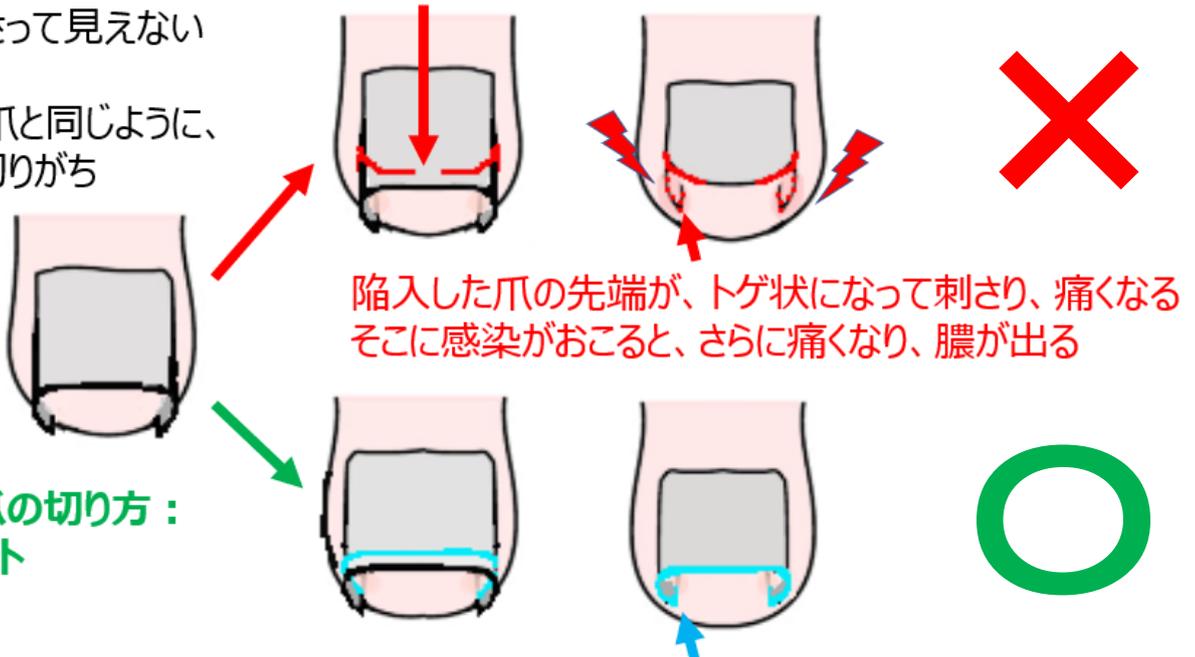
	陥入爪 (+二次感染)	巻き爪
病態	<p>通常、陥入している部分は皮膚がかぶさって見えない</p> <p>見える部分だけ爪を深く切ってしまうと・・・</p>  <p>見えない部分の陥入した爪が棘になって刺さり、痛くなる。そこに感染がおこると膿が出る。</p> <p>陥入爪とは、爪の付け根からホッチキスのように横方向に爪が生えている状態をいいます</p>	<p>爪の先端部に上から圧力がかかると、先端が痛む。</p> <p>爪の根元は、比較的直線状</p>  <p>先端にいくほど、爪が彎曲してくる</p> <p>巻き爪とは、先端に向かうにつれて徐々に彎曲が強くなるものをいいます</p>
痛む部位	<p>陥入した爪が刺さっているところ</p> <p>趾先の側面を抑えると痛い</p>	<p>爪が巻いて爪の中央部直下が爪に挟まれており、布団など上から圧迫されると痛い</p>
原因	<p>陥入爪の原因は、間違った爪切りが多く、特に、足がすぐに大きくなる学童では趾先が当たる(圧迫される)小さな靴を履くことが原因となります。</p> <p>陥入した爪の先端がトゲになって肉に刺さった場合は、しばしばそこに二次感染をおこします。</p> <p>長期化すると不良肉芽というぶよぶよの組織ができることも多いです</p>	<p>巻き爪の原因は、足の変形の結果として足趾が浮いてしまうことによる場合があります(浮き趾)</p> <p>足趾がしっかり床面に着けないと、下方からの反作用が無くなり、爪が巻いてしまいます</p> <p>歩行しなくなった方は、巻き爪になる傾向が強いです</p>
治療法	<p>① 皮膚に刺さっているトゲ状の陥入した爪を切って、刺さらないようにします</p> <p>② 炎症が強い・繰り返す場合は、陥入している部分の爪が生えないように、陥入部の爪が生えないような処置(フェノール法)をします。(どちらも保険適応です)</p>	<p>保険適応では、簡便で有効な治療がありません</p> <p>当院では、自費診療で爪の彎曲を強制する治療を行っております(巻き爪マイスター)</p>

陥入爪の正しい爪の切り方

通常、陥入している部分は
皮膚がかぶさって見えない

注意！手の爪と同じように、
弧状に爪を切りがち

見える部分だけ弧状に深く爪を深く切ってしまうと・・・



正しい足の爪の切り方：
スクエア・カット

真横に直線状に爪を切る。陥入した爪の先端が見えるようにする

巻き爪の治療

巻き爪マイスターの特長

当院では、巻き爪の治療に、巻き爪マイスター®という器具を使用します

① 巻き爪マイスター®本体中央部のコイルばねの中に、形状記憶の超弾性合金ワイヤーが内蔵されていて、まげて爪に装着しても、直線に戻ろうとする力が持続し、徐々に爪を矯正します

① 超弾性合金ワイヤ

超弾性*特性を持つニッケルチタン合金であり、巻き爪に対し持続的な矯正力を発揮します。2本内蔵されており、1本ずつ左右のUフックと接合されています。



② コイルばね

ばねの伸縮を利用して爪側縁に装着するための部品です。ワイヤを抱合することで露出を防ぎ、装着後の安全性を高める役割も担います。

③ Uフック

爪側縁に引っかけることで簡単に装着できます。丸みを帯びた設計で安全性にも配慮されています。

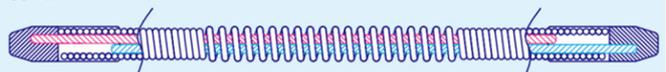
* 超弾性とは

通常の金属とは異なり、大きく曲げても常に元に戻ろうとする性質のことです。メガネのフレームに使われていることで有名ですが、医療分野でも幅広く活用されています。

上から見た図



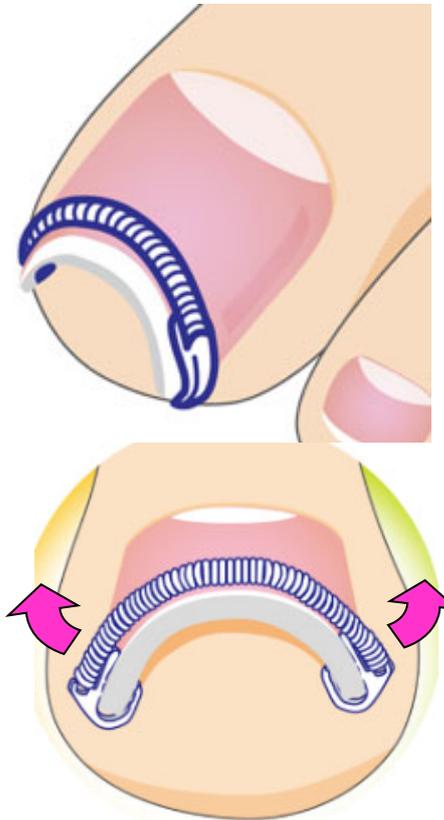
伸長させたとき



② 巻き爪マイスターを挿入すると、持続的にまいた爪を伸ばそうとする力が働き、時間をかけて先端部が開いてきます

- ・コイルばねに内蔵されている超弾性合金ワイヤーが、持続的にまいた爪を広げる矯正効果を発揮します

- ・低侵襲の医療機器ですので、通常であれば、装着時に麻酔をする必要はありません



(マルホの HP より引用)

③ 装着に注意を要する爪、適応が困難な爪

・爪を短く切られている方	爪の先端部ではなくより根本側に装着すると、巻き爪マイスター 本体のフック部分が爪の横の皮膚にあたって痛む 場合があります その場合は、 少し爪が伸びるまで装着を待っていただきます フックを爪に引っかけますので、 装着を希望される巻いた爪は、1～2mm程度伸ばし、角は残してください。
・爪が薄くてもろい方	持続的に力がかかるので、爪が割れる場合があります
・爪周囲に炎症症状を伴う方	状況によりますが、適応できない場合があります

交換時期・日常生活の注意点

・交換時期：

- ・ 装着期間としては 2 週間～数か月を想定しています
- ・ 爪が伸びてきたら、むやみに触らず、装着したまま当科を受診してください
- ・ 巻き爪マイスターに破損がなければ、本品を爪の根元側にスライドさせて再固定し、引き続き装着を継続いたします
- ・ 継続不可能な状態であれば、新規に巻き爪マイスター本体をご購入いただきます

■ テープ貼付の例



・日常生活の注意点：

- ・ 装着された爪の表面を医療用のテープなどで保護することをおすすめします。
- ・ ※テープは衛生面を考慮し、入浴時などに取り換えてください。
- ・ 巻き爪マイスター本体を装着したままお風呂に入っていただいて構いません。ただし、矯正具が外れないよう石鹸などでやさしく洗浄し、入浴後はよく乾かしてから、再度テープを貼ってください。
- ・ 装着した爪に大きな負荷がかかるスポーツ（水泳、サッカーなど）はできる限り控えてください。巻き爪マイスターが外れる可能性があります（外れてしまった場合、ご自身で装着しようとはせず、外れた巻き爪マイスターを持って再度当科を受診してください）。
- ・ 上記以外に、制限はありません。

料金（自費診療になります）

診察料	[初診料] ¥ 3,300 (税込) / [再診料] ¥ 1,100 (税込)
ワイヤー	¥3,300 (税込)
手技料	¥2,200 (税込)